

日本版 I S A (少額投資非課税制度) (愛称ニーサ)とは

日本でも 2014 年から「日本版 I S A (愛称ニーサ)」が始まることになりました。日本版 I S A とは、「株式投資や投資信託などにおいて、値上がり益や配当金非課税にする制度」です。税制面で大きなメリットが受けられます。2013 年度末で証券優遇税制 (20%→10%) が廃止される代わりに導入される制度です。今、アベノミクスで、株価が変動しています。情報として発信しておいてもと思い、今月のテーマとしました。

1. どんな制度なのか？

運用益に対する非課税優遇制度です。1 人が 1 つ専用の口座を開設し、1 年に 100 万円までの投資から得られる配当や売却益が非課税となる制度です

2. 非課税の対象は

非課税口座で保有する株式投資信託や上場株式の配当所得、譲渡所得となります

3. 非課税投資枠

毎年 100 万円までですが、投資を行わなかった非課税投資枠は、翌年以降へ繰り越すことは出来ません。また、他の口座との損益通算はできません。

4. 非課税期間

投資を始めた年を含めて 5 年間、途中売却は自由ですが、売却して、非課税枠が残っているからそこでまた投資することはできません。また、100 万円に達したあと、配当等は再投資できません。

5. 非課税投資総額

5 年間で最大 500 万円になります

6. 非課税維持期間

非課税口座を開設することができる期間は、2014 年から 2023 年までの 10 年間です

7. 口座開設できる人は

口座開設する年の 1 月 1 日時点で、20 歳以上の日本の居住者等です。

《編集後記》

企業経営者の期待には、多様性があり、階級性があると思います。月次巡回監査が、企業の安定と発展への最高の助言となるよう、事務所は努力しております。正当業務の範囲を正しく理解いただき、皆様の期待に応えたい。それが正しい月次巡回監査です。経営者は「数字を読んで行動する」数字を正しく掴んでいただくことと、それを元に行動すること。その為には、毎月の数字が出来るだけ早くわかるように体制を整えること。それが企業発展の第一歩となります。

「教えないから人が育つ」

横田英毅のリーダー学

横田英毅さんは、「ネットトヨタ南国」という高知にある車の販売会社の社長さんです。(今は相談役)リーマンショックの後、車の売れない時代に、すごく売れている販売会社の社長さんで、今月はその人の言葉を記載しようと思います。なかなか難しいことですが、「常に考える」社員を作ることが、次へのステップになります。皆様と一緒に進んでいこうと思います。

1. いい人財を集め続けられれば、いつかいい会社になる。

2. 目標と「目的」をはっきりさせる

3. 問題対処ではなく、「問題解決」に向かう

目に見える現象ばかりを追いかけていないで、目に見えない真因を発見する。

4. 従業員満足度 (E S) がお客様満足度 (C S) より大切。そのためには、従業員の人間性を尊重する。そうすると、人はエネルギーが出て、自分自身の成長につながり、良い結果が残せる

5. 満足より感動。マネージメントのキーは従業員を感動させること。感動した従業員は必ず顧客を感動させる。

6. 知識として理解し、吸収することよりも、「感じる」ことが大切。そのためには、従業員に極力教えない。自ら感じて、考え、発言し、反省することを大切にする。何を発言しても許される雰囲気を作る。人は正解を押しつけてもなかなかやらない。

7. 人に仕事を任せるということは簡単ではないが、気長にすこずつ任せる範囲を広げていけば必ずできる。

なかなか難しいですね。頑張りましょう



3 月決算の 5 月末申告が終了した 6 月 1 日と 2 日、全くのプライベートで所長と二人、東京に行ってきました。東京駅です緑がきれいですね。

日本政策金融公庫

普通貸付金利 1.45~3.70%
経営改善貸付 特利 F1.65

平成 25 年 5 月 16 日より